



今求められる英語力について～大学入学共通テストと TOEFL®を例に～

国際教養大学 町田智久

はじめに

世界ではグローバル化が進み、テクノロジーの発展により各国の結びつきが益々進んでいます。国際会議では英語が共通語として使用され、インターネット上で使用される言語の 60.4% (W3Techs; <http://w3techs.com>) は既に英語です。British Council (2013) は、2020 年までに世界で 20 億人以上が英語を使用し学習していると予想しました。最近では日本の大学でも、英語で行われる授業も増えてきています。そのため、21 世紀を生きる子どもたちに必要な英語力を考えた時、「批判的思考力、問題解決能力、創造力」(Shin, 2021, p. 4) を生かした実践的な英語力が求められます。

今回実施された大学入学共通テスト（以下、共通テスト）も、このような社会変化の中での英語の現状を考慮し、これまでの暗記に基づく外国語のテストから、情報を理解し正しくコミュニケーションするための道具（英語）の運用力を試すテストへと変わったのだと思います。大学生が出会うであろう身近な場面において、様々な資料を活用しながら概要や要点を理解する英語の力が今後一層必要となります。

一方、米国 ETS の作成する TOEFL®テスト（TOEFL Primary®, TOEFL Junior®, TOEFL ITP®, TOEFL iBT®）では、早くからノンネイティブの児童・生徒が学習に必要な英語力を測定してきました。それは、将来の学習に必要な全般的な英語力と、英語を使って学習するのに必要なコミュニケーション能力です。特に、TOEFL Primary®と TOEFL Junior®は、それぞれ小学生～中学生と中学生～高校生を対象にしています。各テストは、児童・生徒がグローバル人材として成長する上で、それぞれの学習段階に必要な世界基準の英語力を、身に付けることをゴールとしています。これは、新たに始まった共通テストともテスト作成のねらいが通じます。そのため、問題形式にも似通った点が見られます。以下、リーディング及びリスニングの問題について見ていきます。

リーディング

コミュニケーションにおいて大切なのは、相手の意図を正しく理解することです。今回の共通テストでは、事実と意見を区別する問題が出題されました（図 1）。単に正確に英文を理解するだけ

ではなく、そこに込められた相手の意図や推量できる意見を読み取ることも異文化コミュニケーションには欠かせません。共通テストでは、バンドコンテストの審査員の共通見解を読み取る問題がありました。バンドの演奏と聴衆の反応の様子から、会場が一体となったという「意見」を導き出す必要があります。

問 4 One opinion from the judges' comments and shared evaluation is that

9.

- ① each evaluated band received the same total score
- ② Ms Wells' suggestion about originality was agreed on
- ③ Silent Hill really connected with the audience
- ④ the judges' comments determined the rankings

(図 1. 令和 3 年度共通テスト英語問題)

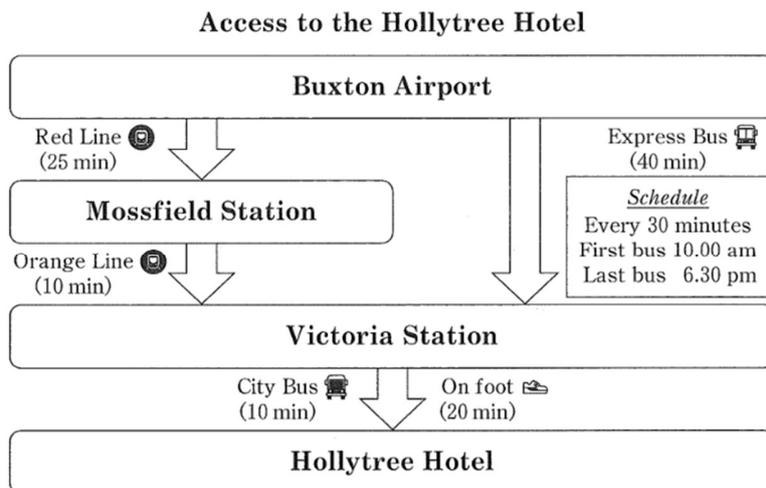
TOEFL Primary®にも同様に「意見」を求める問題が出題されています(図 2)。ここでは Lucy と母親が偶然にも裏庭でクマに出会ってしまうのですが、その時の気持ちを尋ねています。対話の中には「驚いた (Surprised)」という言葉は出てきません。しかし、声を潜めたり、心の準備ができていなかったりする様子から、登場人物の気持ちを推測しなければなりません。

17. How do Lucy and her mother feel at the end of the story?

- (A) Angry
- (B) Excited
- (C) Surprised

(図 2. *TOEFL Primary*® Step 2 問題, GC&T)

情報処理能力も 21 世紀を生きる児童・生徒には必要です。各国では CLIL (クリル: 内容言語統合型学習) が盛んに取り入れられています。他教科の内容や特定のテーマ (環境など) を英語に取り入れる指導方法です。文部科学省も新しい学習指導要領の中で、教科横断的な視点を取り入れながら学習を行うように求めています。今回の共通テストでは、時刻表やグラフからデータを読み取って整理する問題や、旅行の情報や案内図を手掛かりに計算をしながら英文を読み解く問題が出題されました (図 3)。



(図3. 令和3年度共通テスト英語問題)

受験生は英文を読み取るだけでなく、資料や常識を働かせながら情報を処理する必要があります。これは、実際に大学の授業を受けたり、社会の中でコミュニケーションを行ったりする際に必要な能力です。英語を使うのは単に日常会話だけではありません。今後は、英語を道具として使いながら新しい知識を得たり、相手と協働したりしていくことが求められます。そのためにも、このような教科横断的な視点を取り入れた情報処理の能力を、各校種段階で伸ばすことが大切です。

TOEFL®でも、資料と英文を組み合わせる内容を理解する問題は必ず出題されます。例に示した *TOEFL Junior*®では、英文の説明と資料を見ながら、いつ・どこで・何が行われるのかを理解しなければなりません(図4)。英文と資料を行ったり来たりしながら内容を確認する作業は、まさに英語を道具として使う実践的な場です。このような技能が、グローバル社会で生きる児童・生徒には求められているのです。

Student Volunteers Needed!

On Saturday, December 12th, from 10 A.M. until 4 P.M., Carverton Middle School will be holding a music festival in the school gymnasium. The special event will feature a variety of professional musicians and singers.

Task	Time	Date
Make posters	1 P.M.-4 P.M.	December 5th
Set up gym	11 A.M.-4 P.M.	December 11th
Help performers	9 A.M.-4 P.M.	December 12th
Welcome guests	10 A.M.-2 P.M.	December 12th
Clean up gym	4 P.M.-7 P.M.	December 12th

Interested students should speak with Ms. Braxton, the music teacher. Students who would like to help at the festival must have written permission from a parent or guardian.

(図4. TOEFL Junior® 問題, ETS)

リスニング

今回の共通テストでは、英語のリスニングの配点が上昇し、リーディングと同じになりました。これまでの大学入試では、リスニングは「おまけ」のような色合いが強かったですが、今後は重要な技能として位置づけられると思います。TOEFL®では、以前からリスニングとリーディングの配点は同じです。

リスニングはリーディングと同様に受容能力ですが、同時に重要なコミュニケーション能力です。コミュニケーションの場では、能動的に情報を聞き取ることが大切です。大学の授業でも、講義をただ聞き流すのではなく、ノートを取ったり、資料を見たりしながらより深く内容を理解することが求められます。共通テストでは、その準備ともいえる問題が多く出題されていました。例えば、幸福感についての大学の講義を聞く問題では、メモを取りながら教授の話を書く必要があります(図5)。

○ World Happiness Report

- Purpose: To promote { 27 } happiness and well-being
- Scandinavian countries: Consistently happiest in the world (since 2012)

Why? ⇒ "Hygge" lifestyle in Denmark
↓ spread around the world in 2016

○ Interpretations of Hygge

	Popular Image of Hygge	Real Hygge in Denmark
What	{ 28 }	{ 29 }
Where	{ 30 }	{ 31 }
How	special	ordinary

(図5. 令和3年度共通テスト英語問題)

ここでは、幸福に関する語彙の定義や使用例などを、講義の音声を聞きながらメモをしていきます。ノートテキングは重要なアカデミック技能ですので、それがここでは求められています。

TOEFL Junior®ではテストの際に、リスニング問題で使うノートテキング用のメモ用紙が受験者に配布されます。大学の講義を聞く問題は毎回出題され、その際にメモを取りながら聞くことが重要になってきます。図6で示した例は、ハキリアリの特徴についての生物学の講義を聞き、質問に答えていく問題です。講義全体の要旨や、ハキリアリの特徴などが詳細に尋ねられています。TOEFL®では児童・生徒が、英語を使って学習する際に身に付けておくべきアカデミック技能が、

英語力と共に求められています。そのため進学しても、問題なく学習を継続していける基礎を作ることができるのです。

7. What is the main topic of the talk?

- (A) A newly discovered type of ant
- (B) A type of ant with unusual skills
- (C) An increase in the population of one type of ant
- (D) A type of ant that could be dangerous to humans

8. According to the teacher, what is one activity that both leafcutter ants and people do?

- (A) Clean their food
- (B) Grow their own food
- (C) Eat several times a day
- (D) Feed their young special food

(図6. *TOEFL Junior*® 問題, ETS)

小学生や中学生を対象とした *TOEFL Primary*®でも、先生からの連絡や授業を聞いて答える問題が出題されます。例えば、*TOEFL Primary*® Step 1 では、先生が来週のプレゼンテーションに向けて児童・生徒に課題を明日の朝提出するように伝えます。その説明を聞き、明日の朝には何をしなければならないのかを答える問題です (図7)。

What will happen tomorrow morning?

- (A) The students will work on their posters.
- (B) The students will present their projects.
- (C) The students will give their projects to the teacher.

(図7. *TOEFL Primary*® Step 1 問題, GC&T)

また、*TOEFL Primary*® Step 2 では、よりアカデミックな場面でのリスニングが求められています。例えば、理科や社会の授業を聞いて、その内容に答える問題などです。生き物の話題であれば、それぞれの動物の特徴や人とのかかわりなどの説明を聞き、その内容に答える問題が出題されます。これらはまさに児童・生徒が他教科での学びを英語に生かしながら解く問題だといえます。このように *TOEFL*®では、児童・生徒が学習段階に応じた話題や場面で、既習の知識を生かしながら総合的に学習する際に必要な、英語でのコミュニケーション能力を測っているのです。

まとめ

英語は今後ますますグローバル・コミュニケーションの場で、全ての人に必要な道具となっていきます。そのため、いかにその道具 (英語) を効果的に使いこなせるかが求められます。*TOEFL*®や新たに始まった共通テストでも、その方向性が示されていると思います。児童・生徒はグローバル人材として、様々な言語・文化背景を持つ人たちと協働しながら、英語でコミュニケーションを取って問題解決にあたる基礎を作る必要があります。テストは変わりました。授業も変わる必要があります。入試やテストで高得点を取ることを目指す英語の授業ではなく、本当に英語のコミュニ

ケーション能力を伸ばす授業が今後ますます求められます。児童・生徒が 21 世紀を生き抜く「生きる力」を身に付けるためにも、英語教育における各校種間のスムーズな連携が一層必要です。

参考文献

- British Council. (2013). *The English effect*. Retrieved from <https://www.britishcouncil.org/sites/default/files/english-effect-report-v2.pdf>
- 大学入試センター. (2021). 令和 3 年度大学入学共通テスト.
- ETS. (2021). TOEFL Junior sample questions. Retrieved from https://www.ets.org/toefl_junior/prepare/standard_sample_questions/
- GC&T. (2021). TOEFL Primary サンプルテスト. Retrieved from https://gc-t.jp/about_test/primary_sample/
- Shin, J. K. (2021). Teaching English as an additional language in the 21st century. In P. Vinogradova & J. K. Shin. (Eds.). *Contemporary foundations for teaching English as an additional language: Pedagogical approaches and classroom applications* (pp. 3-12). New York, NY: Routledge.
- W3Techs. (2021). *World wide web technology surveys*. Retrieved from <http://w3techs.com>